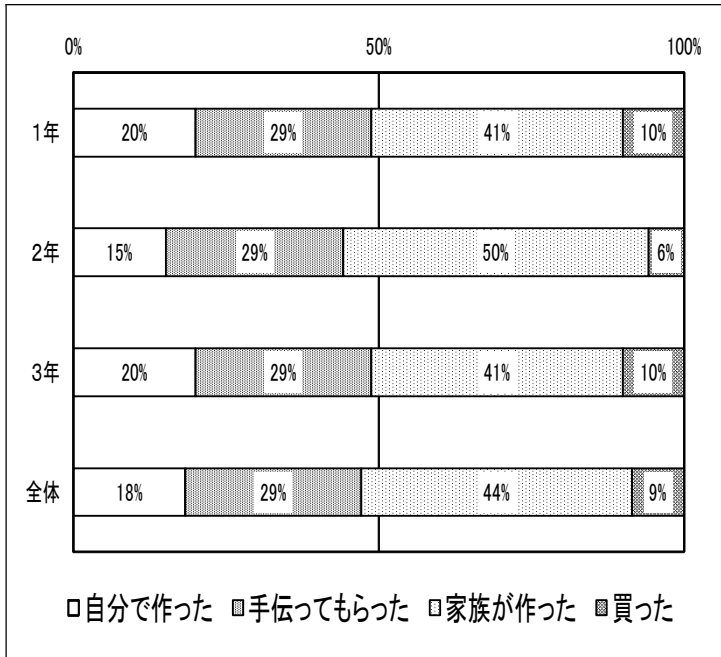


# 不退転

第 80 号  
東江中学校  
校長 神元 勉

## 「弁当の日」のアンケート



10月29日(土)の校内合唱コンクールの日は、初めての「弁当の日」でした。  
弁当についてのアンケート結果をお知らせします。「自分で作った」のは2割弱で、「手伝ってもらった」と合わせても割弱でした。「弁当の日」のねらいは、69号で掲載しましたが、もう一度確認します。

- (1) 弁当作りを通して、食生活や健康についての関心を高める。
- (2) 弁当の献立作成や調理を通して、家族と触れ合う機会を増やし、家族への感謝の気持ちをほぐす。
- (3) 弁当づくりを通して、調理技術を身に付け、将来、健康的な食生活が実践できるようにする。

次回は、自分で作れる生徒が増えて「弁当の日」のねらいを達成してほしいと思います。  
それでは、弁当づくりについての感想の一部を紹介いたします。

▼家族に手伝ってもらったけど、ちょっとは自分で作れたので良かったと思う。▼今回は、寝坊して親が作ってくれた。自分で作ろうと思ったのに！▼弁当の日は、親と楽しみながらできるし、早起きも身につけられるので、とてもいいことだと思った。

▼自分で作れなかったため、次は自分で作りたい。  
▼お母さん達の大変さがわかったし、自分の弁当を食べておいしかった。▼詰めるだけだったけど、難しかった。自分で詰めた弁当さいこー！▼久しぶりのお母さんの手作り弁当だったし、みんなと輪を作

って食べられたのが、とても楽しかった。▼弁当を一人で作るのは初めてで、難しかったけど、自分で作った弁当は、母にはかなわないけど、特別な感じがして美味しく感じた。▼簡単なものを作るだけだったので、難しい料理にも挑戦したい。



▼いつもは、普通に親に弁当を作らせていたけど、詰めるのを手伝うことで「ありがとう」と言えた。  
▼今回初めての試みだったので、自分で弁当を作るのは、少し大変だった。しかし、家族との交流を深めることができる日なので、良いと思った。▼自分で作るのって幸せ！これからも作るぞ！もって弁当の日を増やして！▼とてもいいと思いました。自分で弁当を作ることで、お母さんの苦労がわかるかもしれないので、来年も続けてほしいです。

## 栄養教諭による給食指導

「食に関する正しい知識の理解を深め、望ましい食習慣を身につけさせる。」ことをねらいに、栄養教諭の宮城通子先生が、9月から給食時間に各学級を訪問し、栄養指導をしています。

9月：「水分補給」  
10月：「食事のマナー」  
11月：「よく噛む」

これまでの3回の学級訪問から感じたことをまとめてもらいました。

▼給食準備が時間内に行われ、マナーを守った給食時間である。▼担任・副担任の先生方が、きちんと給食指導を行っている。▼1クラス5分程度の栄養指導であるが、食事をしながら、きちんと耳を傾けて聴いてくれる。▼栄養指導を行った後、どの学級も拍手やお礼の言葉を述べてくれる。▼東江中の給食時間は、きちんと守られていて、とてもすばらしい。

